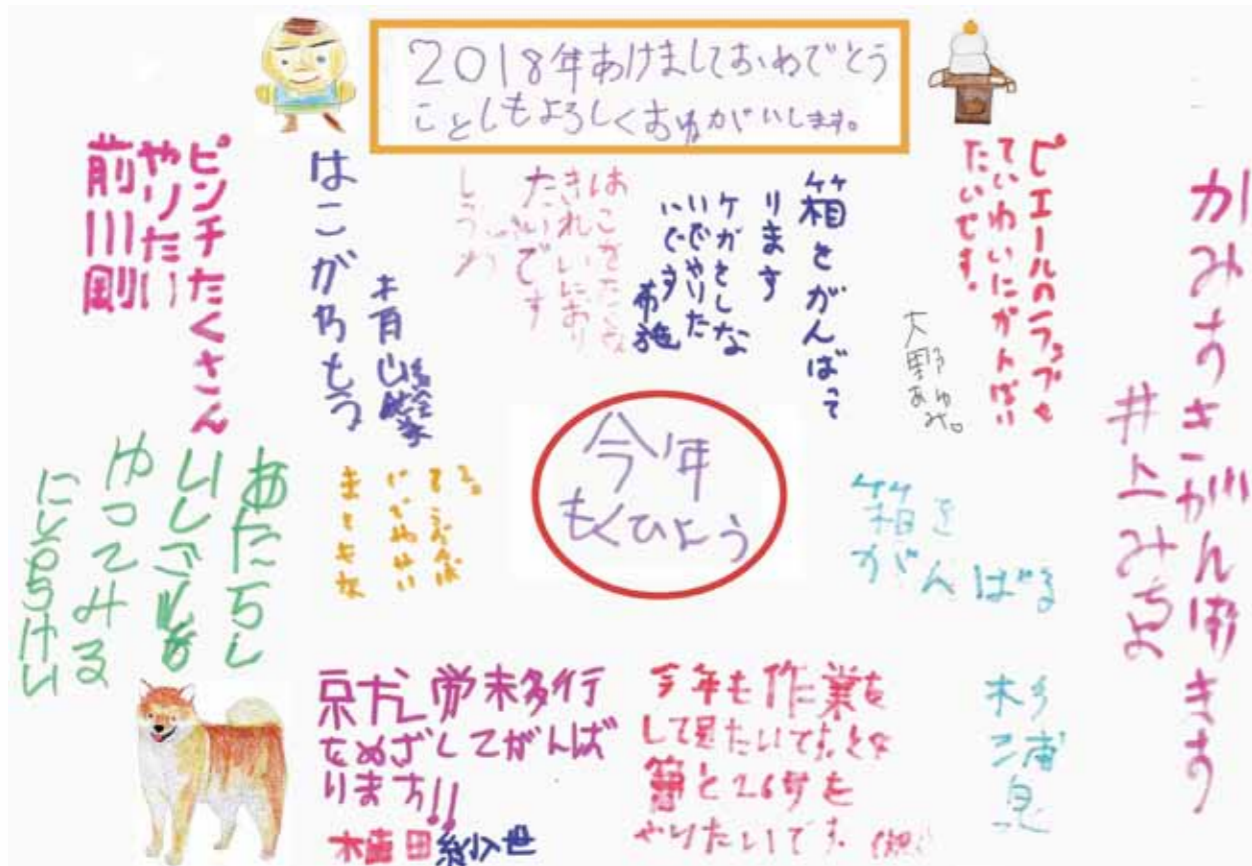


せたふく会編集局の紙面は、当施設の利用者自治会『せたふく会』からの発信紙面です。



がんばれ、受験生!
 スペシャル動画をホームページで配信中!

撮影にご協力いただいた、池尻稲荷神社さん・HTOKYO三宿店さん、ありがとうございました!

せたふく通信

わいわい

第41号 平成30年1月30日発行

🔍 **今号の注目記事** 🔍



初体験しちゃった!?(せたメシ)
コンテナ作業…?(作業風景)
 地球にやさしい、**せたふくのエコ活動** (特ネタ)
 世田谷福祉作業所は、**頑張る受験生を応援**します!(わいわいコマーシャル)

何気ないひと言が、笑いを生み、涙をまき、世を変え、歴史を動かすことになるかもしれない?

利用者のつぶやき

田中さん、きれいだね。

この卵どうやって割ればいいのか?
おでこで?
うそでしょ!?

(お腹もめくり…)
体脂肪
いっぱい???

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が運営する25施設と7つのグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支えると組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931 東京都八王子市台町 1-19-3
 電話・FAX: 042-626-9772

編集後記

先日、上越を襲った豪雪により15時間もの間、電車に取り残された女子高生が、救出後、「協力し合って良い経験になった」と話しているのを見て、なんて前向きなんだろう!と、脱帽。その背景には、運転士の誠実な人柄が、「乗客にも何かできることがある」と、後押しをしたとのこと。

後押しといえば、作業所では、頑張る受験生を後押しするスペシャル動画をホームページで公開しています。受験生は、学生ではありません。作業所にも資格取得に向けて奮闘している職員がいます。その職員も含めたすべての受験生に向けて、僭越ながら一杯のエールを送ります。君たちの未来は開かれている~!!!! (田中ひろみ・中村勘太)



社会福祉法人武蔵野会 世田谷区立世田谷福祉作業所
 〒154-0002 東京都世田谷区下馬 2-31-34-101
 TEL:03-3414-0141 FAX:03-3412-1084



ここ最近の施設のことがよくわかる!

Waiwai Report 11月～1月

せたふく秋の肉まつり (11月30日)

師走に向けて栄養補給!

肉はまだかと殺到する一方で肉を焼く担当の職員に「ちゃんと食べてます?」と、やさしいやさしい気遣いをする利用者も。



クリスマスパーティー (12月25日)

ビーフシチューをメインに、豊富な種類のパンやケーキをお好みでチョイス。お洒落なパーティーに乱入したあわてんぼうのサンタクロースが、シャンメリーを床にこぼしていました。



もちつき (12月27日)

ついたお餅は鏡餅にしてお供え。熟練ボランティアや平石紙器工業株式会社の社長さんも参加。手厚いご指導のもと、味のある鏡餅ができました。



成人を祝う会・新年会 (1月10日)

今年は2人の新成人をお祝いしました。数年ぶりに作業所を会場とし、レストランシーブリーズさんによる新年会限定のランチボックスは大好評でした。



鏡開き (1月11日)

年末に飾った鏡餅は、この日、温かいお汁粉に変身。

午後のティータイムにみんなでいただきました。



大雪 (1月22日～28日)

これくらいで大雪と騒いだら雪国の人たちに笑われるかもしれませんが、慣れないスコップにへっぴり腰で雪かき頑張りました。



特ネタ

世田谷福祉作業所の3R活動

3R活動をご存じの方も最近では多いのではないのでしょうか。3Rとは、リデュース、リユース、リサイクルの総称で、ゴミを減らしたり物を大切に使うことで環境に配慮した活動をする事です。当施設では、ここまで3R活動が世間に浸透するより、もう何年も前から実践しているということに、私たちは最近気が付きました。

〔栄養ドリンクの空き瓶〕

チラシや新聞を折る作業でつかいます。しっかり折り目をつけるのに有効で、リユースの視点以上に、作業を補助するものとしても、すごく重宝しています。



〔ジップロック〕

銀行などで無料でもらえるジップロック。当施設では、手すき紙製の名刺サンプルを入れて持ち歩いています。これをいつでもお見せして営業できるので必携です。しかも、無料配布に甘えず、ガムテープで補強してまで1つのジップロックを何年も使い続けるリデュースの鑑。もう、表彰してあげたい! (中村勘太)



〔使用済みカード〕

今や目にする事さえ珍しい、テレホンカードや共通バスカード。紙すき作業において、板の上で乾燥させた漉き紙を剥がすときの必須アイテムです。素手でむりやり剥がすと漉いた紙が反ってしまうので、こちらも重宝しています。



働く忙しい人たちのための食事処

せたそば開店!

1月某日、当施設の食堂が立ち食いそば屋『せたそば』に改装されました。『うどん? or そば? & たぬき? or きつね?』

好きな組み合わせで注文して食べました。窓辺にある棚を立ち食いカウンターに仕立てて、人生初の立ち食いをした人も。「楽しい!」「おいしい!」と、いつもの給食と違う雰囲気を楽しみました。ちょっとしたことで毎日の給食も別の物に感じる事ができるいい体験でした!

食事後、のれんや看板を用意した職員に、「田中さんがそば屋を開いてくれたの?」と、微笑ましい質問がありました。(田中千絵)



作業風景

コンテナ作業って???

世田谷福祉作業所の作業のひとつに、『コンテナ』という作業があります。

通常、『コンテナ』と聞くと、貨物の輸送や荷物を運ぶときにつかう入れものをイメージするでしょうか。でも、私たちがおこなっている作業の『コンテナ』とは、子宮がん検診の際に使用するものなのです。木製の枠のなかに、ガラスの板を入れ、輪ゴムで留めていく工程が私たちの作業。実際にどのように使われるものなのかは、私たちも見たことがありません。それでも検診で使う大事なもの。ミスのないよう集中して作業に取り組んでいます。(中村勘太)



せたふくみらいにつき

〔イベント情報〕

クローバーアート

1月31日(水)～2月2日(金)
世田谷ものづくり学校にて

もっと知ってほじょ犬

2月3日(土)
世田谷福祉作業所にて

〔販売会情報〕

2月10日(土)

下北沢大学

2月20日(火)～21日(水)

正門前直売会 (予定)

3月3日(土)

せたがや梅まつり

3月15日(木)

小田急線梅丘駅構内

★詳しくは同封のチラシをご覧ください。皆さまのご来場・ご参加をお待ちしています。

★皆様のご来店お待ちしております!

前略みな様

昨年は当事業所開設50周年という節目に、利用者・ご家族、地域の方々との活動を通して足跡を振り返る機会をいただきました。また福祉施策の動向に目を転ずれば障害者福祉分野の制度改正も迫っています。

私たち社会福祉法人が社会的に担う責任や役割についてあらためて考える時、第一は世田谷作業所が利用者ひとり一人にとってよりよい施設であり続けるよう安定した運営を行うことです。そのためには理念に沿ったきめ細やかな支援の継続と、福祉に従事する人材が必要です。私たち職員自身が率先してこの仕事の魅力や大切さを伝えていきます。

そしてもう一翼が支援を必要としている人と地域・社会を繋いでいく役割です。福祉に携わる私たちが何でも知っているわけではありません。それでも、「これは必要かも」という地域のアンテナを張り、自らも学び貢献して参ります。まずは成年のはじめに、世田谷地区の法人4事業所合同で補助犬についての公開講座を開催します。地域にある福祉的課題を解決するという大きな事業のイメージになりますが、身近な事から僅かずつでもその役割を担ってきたいと思います。

どうぞ本年もお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

(施設長 伊藤 久美子)